

詩人の恋に関する一解釈

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-02-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 寶福, 英樹 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00024670

詩人の恋に関する一解釈

寶福英樹

One interpretation of the Poet's love(Dichterliebe)

Hideki Hofuku

『詩人の恋』は、R.A.シューマンが「歌の年(1840)」に作曲した歌曲集の一つである。この歌曲集のこの解釈は、著者が今までに色々な声楽家から受けてきたレッスンに基づき演奏する際に最善と考えるものであるが、あくまでも数ある解釈の中の一つである。演奏には、それぞれの演奏家が考える解釈が存在するからである。

R.A.シューマン(Robert Alexander SCHUMANN 1810-1856)の楽曲を演奏する(歌う)際に注意すべき点は、それ以前の作曲家 F.P.シューベルト(Franz Peter SCHUBERT 1797-1828)の演奏法と大きく違うということにある。同じドイツリート、同じロマン派でも歌い方が変わる。F.P.シューベルトは旋律を重視し、R.A.シューマンは詩を語るなのである。つまり、F.P.シューベルトは legato 唱法を多く用い、R.A.シューマンは legato 唱法を用いないところが多くなる傾向にある。legato 唱法は、なめらかに歌うことを目的としているため、母音を長く歌うことが重要であり、詩を語るということは、母音が短くなり子音を多く発音するということになる。話しをする時の語感に近づけるということである。

では、どこを legato で歌い、どこを言葉を読むのかということ、いくつかポイントを定め、具体的に1曲目から示して行くが、示した箇所は、最低限そのように演奏すれば、効果があると考えられる演奏法である。

1.いと麗しき5月に

いと麗しき5月に、
すべての蕾がぼっと開いたとき、
そのとき、心に愛が芽生えました。
いと麗しき5月に、
すべての鳥がさえずったとき、
そのとき、彼女に憧れと望みを抱いたのです。

出だしは in tempo. Im は、レガート唱法では l-m と歌うが、ここは lm- と m を長く歌う。wunderschönen では、下線部 u の母音が浅くならないように注意し、語尾の下線部 n を鳴らしながら、Monat に向かって portamento をかける。als alle Knospen sprangen では、alle を強調し、Knospen では、下線部 Kn を強調し、

decrecendo をかけながら C 音から E 音に降りて来る時に portamento をかける。この際、poco dolce で歌い、sprangen の三重子音[spr]をしっかりと歌う。da ist in meinem Herzen では、16 分音符が充てられている下線部 in と nem は、poco tenuto。die Liebe aufgegangen で 16 分音符が充てられている下線部 be と ge は、poco tenuto。Im wunderschönen Monat は、最初の解釈に準ずる。als alle Vögel sangen の Vögel で、decrecendo をかけながら C 音から E 音に降りて来る時に portamento をかける。da hab'ich ihr gestanden で 16 分音符が充てられている下線部 ich と ge は、poco tenuto。mein Sehnen und Verlangen で 16 分音符が充てられている下線部 nen と Ver は、poco tenuto。

2.この涙から溢れ出て

この涙から沢山の咲き誇った花々が溢れ出て、
ため息はナイチンゲールの歌となります。
可愛い子よ、もし愛してくれたなら、
その花々をすべてあげましょう。
その窓辺ではナイチンゲールの歌が響き渡ります。

Aus meinen Tränen sprissen では、Tränen を歌っている間に crescendo をかけ、sprissen を歌っている時に decrecendo をかける。その際、下線部 spr の三重子音に注意する。viel blühende Blumen hervor では、下線部 de の H 音を軽く歌い、下線部 Bl の二重子音と hervor の下線部 v をおろそかにしない。Aus meinen Tränen sprissen と viel blühende Blumen hervor、この二つの Motiv を考えながら歌う。次に続く und meine Seufzer werden と ein Nachtigallenchor の二つの Motiv も同様である。Und wenn du mich lieb hast Kindchen では、du を強調し、mich は自分に関する事なので、余り目立たぬように歌う。schenk'ich dir die Blumen all'では、下線部 n においてしっかりと舌を離した後で all'を発音する。und vor deinem Fenster soll klingen das Lied der Nachtigall では、下線部 m と F を長め発音する。

3.薔薇や百合、鳩や太陽が

かつて、愛の喜びに浸っていたとき、

薔薇や百合、鳩や太陽、
それらすべてが好きでした。
でも今はもう好きではありません。
今は、小さくて、繊細で、
純粋なたった一人の女性を愛しています。
彼女こそ、すべての愛の喜びであり、
薔薇や百合、鳩や太陽なのです。
今は一人の女性だけを愛しています、
小さくて、繊細で、純粋な一人の女性だけを……。

この曲は子音だけで歌うイメージで、Rose, Lilie, Taube, Sonne の4つの単語が並列であることを意識する。Die Rose, die Lilie, die Taube, die Sonne では、下線部 Ro, Li, Tau, Son を強調し、die liebt' ich einest alle in Liebeswonne の中で、crescendo と decrescendo を完結させ、下線部 a を強調し、Liebeswonne の下線部 wonne では、リズム感を出して歌う。次の Ich lieb'sie nicht mehr は少し投げやりな感じで歌う。ich liebe alleine die Kleine, die Feine, die Reine, die Eine では、下線部を強調し、Eine はリズム感を出して歌う。sie selber, aller Liebe Wonne, ist Rose und Lilie und Taube und Sonne では、Wonne と Sonne のリズムに注意して歌う。ich liebe alleine die Kleine, die Feine, die Reine, die Eine, die Eine では、alleine と Kleine の音程差があることに注意し、ゴツゴツと硬めに歌わない。下線部の Eine はリズム感を出して歌い、最後の単語の Eine は、Ei を強調し、G 音から C 音に降りる際に portamento をかける。

4. その目をのぞき込むとき

その目をのぞき込むとき、
すべての悩みや悲しみは消え去ってしまいます。
でも何といても元気になってしまうのは、
その唇にキスをするときです。
もしその胸に、もたれ掛かることが出来たなら、
天にも昇る気持ちになってしまうでしょう。
しかもその上、「愛してるわ」なんて言われたら、
どうしていいかわからず、
思わず激しく泣くに決まっています。

この曲は、全体的にしゃべりの要素を多くし、子音をしっかりと発音する。Wenn ich in deinen Augen seh' では、wenn の下線部 nn を鳴らし、deine の d を強調し、Augen の A は声帯のハードアタックで対応する。deine Augen で crescendo と decrescendo を行い、Augen の C 音から A 音にかけて portamento をかける。その後、seh' で crescendo をかける。so schwindet all' mein Leid und Weh では、schwindet の下線部 w を響かせ、次の下線部 L と W をしっかりと発音する。doch wenn ich küsse deinen Mund, so werd' ich ganz und gar gesund

では、in tempo で歌い、küsse の下線部 k に時間をかける。ganz の下線部 g を柔らかく長めに発音し、gar の r はしっかりと舌を巻く。wenn ich mich lehn' an deine Brust では、lehn' の A 音と an の E 音の間で portamento をかけ、Brust の st を柔らかくしっかりと発音する。kommts über mich wie Himmelslust では、下線部の k, t's, w, l を長めに歌い、下線部 st は柔らかく発音する。doch wenn du sprichst の doch は、息をまぜて歌う。sprichst は、spri-ch-st と歌い、ich liebe dich は、espressivo で歌う。R.A. シューマンの場合、ritard. と書いてあるところは espressivo で歌い、本当の ritard. は、ritard. の後に --- と書いてあるところである。so muss ich weinen bitterlich は、下線部 w と b を長めに歌う。

5. この心を沈めてしまいたいのです

この心を百合の萼の中に沈めてしまいたいのです、
愛する人に寄せる僕の詩を
百合が歌うように囁くから……。
その歌は、この心をドキドキさせ、震えさせます、
ちょうどあの唇にキスをしたときのように……。
あの唇は、
言い表せないほどの甘い一時を与えてくれました。

Ich will meine Seele tauchen in den Kelch der Lilie hinein では、旋律が停滞しないように積極的な気持ちを持って歌う。下線部の ch は短めに歌う。積極的な気持ちで歌うということは、横隔膜を常に使って速めの息を流し続けるということである。die Lilie soll klingend hauchen ein Lied von der Liebsten mein では、klingend を kli-ngend と歌い、hauchen は ha-uchen と歌う。Lied の下線部 l は長めに発音し、Liebsten の H 音と A 音の間で portamento をかける。Das Lied soll schauern und beten wie der Kuss von ihrem Mund では、Das Lied をしっかりと硬めに歌い、下線部 sch[ʃ] を長めに発音する。beten の C 音と A 音で portamento をかけ、Kuss von では、付点 8 分音符に Kuss が、16 分音符 von が割り当てられているが、Ku に 8 分音符、ss に 16 分音符、von に 16 分音符を割り当てて歌うとよい。den sie mir einst gegeben in wunderbar süsser Stund' では、gegeben の下線部 geben の E 音と C 音の間で効果的な portamento をかけ、下線部 w, s, St を長めに歌い、süßser の H 音と G 音の間で portamento をかける。ピアノの後奏の ritardando --- が本当の ritardando。

6. 聖なる流れのラインに

聖なる流れのライン、
そのラインの波に
大きな聖堂を持つ偉大な聖なる町、

ケルンが映っています。
その大聖堂には金色の皮に描かれた肖像があり、
それは、この自堕落な生活に
柔らかな光を投げかけて来ました。
花と天使が聖母マリアの周りを取り囲んでいます。
その瞳、その唇、その頬は
まさしく愛する人とそっくり同じなのです。

ライン川の幅広い様子をイメージして、声を出す。
Im Rhein, im heiligen Strome, da spiegelt sich in den
Well'nでは、Rhein と im の下線部 n と m を長めに歌い、
da 以下 Well'n まで、*marcato* で歌い、Well'n の
n をしっかりと鼻を鳴らす。mit seinem grossen Dome,
das grosse, heilige Cöln では、下線部 gr を強調し、Cöln
では、C を硬めに歌い、Cö-ln と歌う。im Dom da steht
ein Bildnis, auf goldenen Leder gemalt では、下線部 da
を慎重に歌い、Bildnis と goldenem の下線部 s と m
を長めに歌い、gemalt は、ge-ma-l-t と発音するイメ
ージで、下線部 t は、しっかりと発音する。in meines
Lebens Wildnis hat's freundlich hineingestrahlt では、全
体的に f で歌い、下線部 n を長めに歌い、下線部 W
を強めに歌い、下線部 t をはっきりと歌う。
Es schweben Blumen und Eng'lein um unsre liebe Frau
では、下線部二つの n を長めに歌い、liebe の D 音と
C 音に *portamento* をかけ、下線部 Fr を長めに歌う。
die Augen, die Lippen, die Lippen, die Wänglein, die
gleichen der Liebsten genau では、わくわくして、瞳
→唇、唇→頬と視線を変化させる。下線部の l と n
は長めに歌い、ritard. は *espressivo* と解釈し、Liebsten
から genau に向かって *decrescendo* をする。

7.恨みはしません

恨みはしません、
たとえ心は張り裂けようとも……。
ずっと離れてしまう愛しい女よ、
恨みはしません。
ダイヤモンドの壮麗さの中で
どんなに輝いていようとも、
あなたの心の闇に光はもう差し込みません。
そのことを十分に知っています。
恨みはしません、
たとえ心は張り裂けようとも……。
夢の中ではっきりとあなたを見つめ、
その心の片隅に闇も見つけました、
心を貪り食う蛇に気づいてしまったのです。
ああ、愛しい女よ、その時のあなたの姿は
見るに忍びないものでした。恨みはしません。

Ich grolle nicht, und wenn das Herz auch bricht は、
marcato で歌い、下線部 gr の r は舌を多めに巻き、

und 以下 bricht まで *marcato* で歌う。ewig verlor'nes
Lieb では、ewig と verlor'nes の間は切って歌う。ich
grolle nicht の 8 分音符 ich は *tenuto* を用いながら、
下線部 gr の r は舌を多めに巻く。Wie du auch strahlst
in Diamantenpracht, es fällt kein Strahl in denes Herzens
Nacht, das weiss ich längst では、下線部 W を長めに、
下線部 str と Str の三重子音をはっきりと発音し、下
線部 das は強調して、längst の全音符と 2 分音符で
crescendo。das weiss のところの ritard. は *espressivo*
のつもりで歌う。Ich grolle nicht, und wenn das Herz
auch bricht は、出だしに準ずる。Ich sah dich ja im
Traume, und sah die Nacht in deines Herzens Raume
では、全体的に *legato* で歌い、特に Herzens Raume の
ところは *slur* を気にかけて歌う。und sah die Schlang',
die dir am Herzen frisst, ich sah mein Lieb, wie sehr du
elend' bist では、全体的に *legato* 唱法を用い、ich sah
mein のところの ritard. --- は、本当の ritard. 扱い。ich
grolle nicht, ich grolle nicht では、下線部 gr の r は舌
を多めに巻き、最後の下線部 cht は言い切る。

8.もしあの花が知っていたなら

もしあの花が、あの小さな花が、この心が
どんなに深く傷ついているかを知っていたなら、
心の痛みを癒すために
一緒に泣いてくれたことでしょう。
もしナイチンゲールが、どんなに悲しみ、
憔悴しきっているかを知っていたなら、
元気づける歌を愉快にさえずったことでしょう。
もしあの金色のお星様が、
この悲しみを知っていたなら、
天の高いところから降りて来て、
慰めの言葉をかけてくれたことでしょう。
でも、みんな何も知らないのです。
たった一人の女性だけが
この心の痛みを知っています。
そう何故なら、
彼女こそがズタズタにしたからです、
この心を引き裂いたのです。

この曲は、内容による変化を考えて、音量や表情
に気をつけて歌う。全体的に子音を出して歌う。Und
wüssten's die Blumen, die kleinen, wie tief verwundet
mein Herz では、下線部 w, ss, n's, Bl, kl, w, t,
w, z[ts]を意識して歌い、tief 以下 Herz まで表情を
強く出す。sie würden mit mir weinen, zu heilen meinen
Schmerz では、下線部 w, Sch[f], z[ts]を強調して歌
い、weinen のところで *crescendo* をし、zu は、z-u と
いうつもりで発音し、heilen の l を少し長めに歌う。
meinen は、付点 8 分音符と 16 分音符で書かれてい
るが、8 分音符と二つの 16 分音符で me-i-nen と歌

うつもりで Schmerz で decrescendo をかける。Und wüssten's die Nachtigallen, wie ich so traurig und krank では、下線部 w を長めに歌い、Nachtigallen には slur をかける。wie 以下 krank までは、表情を強く出すように言葉をはっきりと歌い、marcato を意識する。sie liessen fröhlich erschallen erquikkenden Gesang では、下線部の ll を鳴らし、下線部 kk は間を切って歌う。Und wüssten sie mein Wehe, die goldenen Sternelein では、下線部 w, s[z], W, n を長めにし、die goldenen Sternelein は、星のことを言っているのでキラキラした感じで柔らかく歌う。星は上にあるので、上を向きながら歌うイメージ。実際に上を向いても構わない。goledenen は金色なので、大切な貴金属の言い方で歌う。sie kämen aus ihrer Höhe, und sprächen Trost mir ein では、下線部 k の子音を立て、下線部 ö と e の発音の違いを考え、下線部 spr と Tr の三重子音と二重子音を意識する。Sie alle können's nicht wissen, nur eine kennt meinen Schmerz からの強弱記号は p となっているが、ここからはこの曲の結論になる。mf で演奏してもよい。下線部 k, w はしっかりと歌う。下線部 nur と eine の間はずなげず、eine は ei-ne のつもりで歌う。下線部 Sch[f] は長め。sie hat ja selbst zerrissen, zerrissen mir das Herz では、下線部 ja は強めに、r は激しく多めに舌を巻き、ss は長め。下線部 mir das はつなげず、Herz は強く歌う。

9.それはフルートにヴァイオリン

それはフルートにヴァイオリン、
そこにトランペットが割って入り、
高らかに鳴り響いています。
そのとき、愛しいあなたは
喜んで婚礼の踊りを舞っています。
鳴り響き、轟く太鼓や笛、
その迫間で愛しい天使がすすり泣き、
嘆いています。

この曲は、怒りと苦しみを持って歌う。Das ist ein Flöten und Geigen, Trompeten schmettern darein では、下線部 ist は i-st と歌うつもりで、G は強めに発音し、schmettern は schme-tern とし、da は poco tenuto。da tanzt wohl den Hochzeitreigen die Herzallerliebste mein では、den の下線部 n は、次の単語の語頭が H であるため、日本人の場合 [nu] と発音した方が舌の前で発音することができるので、そのようにした方がよい。下線部 ll は鳴らして歌う。Das ist ein Klingen und Dröhnen, ein Pauken und ein Schalmey'n では、下線部 ist は前述のように i-st のつもりで、Klingen und はリズムに気をつけ、Klin の n を長めに歌う。Pauken und も同様でリズムに注意。下線部 Kl, Dr, Sch[f] は二重子音、三重子音に気をつける。

10.あの可愛い歌が聞こえます

あの可愛い歌が響いているのが聞こえます。
それは、かつて愛しい人が歌っていた歌です。
その歌を聞くとこの胸は、
止みがたい苦しみの衝動によって、
張り裂けてしまいます。
重苦しい憧れが、森の丘へと駆り立てます。
そこで途方もない悲しみのあまり
泣き崩れてしまいます。

この曲は静謐な中に大いなる悲しみを持って歌う。Hör' ich das Liedchen klingen, das einst die Liebste sang では、legato 唱法を用い、下線部 Liedchen は Lie-dchen のつもりで歌い、klingen は klin-gen と歌い、n をしっかりと鳴らすことが大事。einst は e-inst と歌い、sang の s[z] は長め。so will mir die Brust zerspringen von wildem Schmerzendrang は、mp で始め、下線部の z[ts] は少し速めに歌い出し、spr の三重子音をしっかりと発音する。w は少し荒々しく歌い、Sch[f] と dr は苦しみながら歌う。Es treibt mich ein dunkles Sehnen hinauf zur Waldeshöh' は、p で始まり、下線部 tr は息の量を増やし速く発音する。u は暗めに発音する。dort löst sich auf in Tränen mein übergrosses Weh' では、löst から crescendo をし、Tränen で decrescendo をし、下線部 m, ü, gr, W を強調し、やるせなさを表現する。

11.一人の若者がある娘に恋を

一人の若者がある娘に恋をしましたが、
彼女は他の青年を選びました。
その選ばれた青年は彼女以外の女性を愛し、
その女性と結婚してしまいました。
娘は腹立ち紛れに
ばったり出会った
その辺の手近な男を夫にしました。
若者は嫌になって落ち込んでしまいました。
これは古い昔話ですが、今でもよくある話です。
ちょうど今、この話が当てはまる人は
胸が張り裂ける思いがすることでしょう。

この曲は scherzando 風（諧謔的）に演奏すると効果的である。Ein Jüngling liebt ein Mädchen, die hat einen andern erwählt, der andre liebt eine andre, und hat sich mit dieser vermählt では、下線部 Ein, ein, die, an, an, d を強調する。Ein Jüngling の Ein の n は舌の前で発音したいので、次の単語の語頭が J であるため、[nu] と発音した方が無難である。Mädchen は Mä-dchen, erwählt は er-wäh-ht, vermählt は ver-mäh-ht のつもりで発音する。eine andre の eine は何もせず、andre の C 音と G 音の間で portamento をかける。Das

Mädchen nimmt aus Ärger den ersten besten Mann, der ihr in den Weg gelaufen; der Jüngling ist übel dran では、怒りを持ち、怒って歌う。下線部の Mädchen は暗めに歌い、Ärger は激しい怒りを持ち、den ersten besten は単語ごとに切って、marcato 気味に歌う。Jüngling の J と übel の ü は強めに発音する。Es ist eine alte Geschichte, doch bleibt sie immer neu; und wem sie just passiert, dem bricht das Herz entzwei では、下線部 Es は Es-、ist は is-t のつもりで発音する。und 以下 entzwei までは marcato で歌う。bricht と das は間を空ける。sie just のところの ri-tar-dan-do は、espressivo 扱い。

12. 光り輝く夏の朝に

光り輝く夏の朝に庭を散策します。
花々は囁き、話しかけて来ますが、
黙したまま、歩き回っています。
花々は囁き、話しかけて来て、
哀れみ深く見つめています。
「私たちのお姉さんに気を悪くならぬでね、
悲しみに溢れ、青ざめたお人！」

Am leuchtenden Sommermorgen geb' ich im Garten herum では、leuchtenden は軽く、語感を活かして leu-chtenden と歌う。Am 以下 Sommermorgen まで vibrato を余りかけずに真っ直ぐに歌う。Garten の A 音と G 音の間に portamento をかける。Es flüstern und sprechen die Blumen, ich aber wandle stumm は、語り、且つ歌う。下線部 Es は Es-、flüstern は flüs-tern、sprechen は sprech-en と歌う。flüster の fl と stumm の st は早めに歌い出す。Blumen は crescendo をし、Des 音と Ces 音の間で portamento をかける。ich から subito pp で、aber を強調する。wandle の nd は鼻で言うつもりで歌う。Es flüstern und sprechen die Blumen, und schau mitleidig mich an では、前述同様、下線部 Es は Es-、flüstern は flüs-tern、sprechen は sprech-en と歌う。flüster の fl は早めに歌い出し、mitleidig の lei の A 音と dig の G 音の間に portamento をかける。an は a-n-と歌う。Sei unsrer Schwestern nicht böse, du trauriger blasser Mann では、Schwester の Sch[f], nicht を強調し、böse の b は柔らかく発音し、traurig の tr をしっかりと発音しながら、traurig と blasser は二つとも大切に歌う。Mann は Ma-nn-と歌う。

13. 夢の中で泣きました

夢の中で泣きました、
あなたが墓に横たわっている夢でした。
目を覚ましても、
まだ涙が頬を伝って流れていました。
夢の中で泣きました、
あなたに見捨てられた夢でした。

目を覚ましても、なおも、激しく泣きました。
夢の中で泣きました、
あなたがまだ、僕を好きだという夢でした。
目を覚ましても、
涙がずっと止処なく流れ落ちていました。

8 分の 6 拍子の特質を活かして歌う。

Ich hab' im Traum geweinet, mir träumte, du lägest im Grab では、下線部の au は明るすぎずに、w は長めに。mir からは静かな悲しみに暗く。du から Grab までは音色に気をつけて白々しく言ってはいけない。du は強調して。Ich wachte auf, und die Träne floss noch von der Wange herab は、生々しく歌い出し、前の du lägest im Grab と Ich wachte auf の対比をはっきりする。und Träne から herab までは、涙が優しく流れる感じで歌い、下線部 Tr は柔らかく発音する。floss は floss-と歌い、floss 以下 herab までは、しゃべり声をそのまま声にする。vibrato を取って歌う。noch のところの ritard. は espressivo 扱い。Ich hab' im Traum geweinet, mir träumt', du verliessest mich の始まりは、p と表記されているが、mp の方が効果的である。ここは、激しい苦しみ、痛みの表現を持って歌う。下線部 du と mich を強調する。verliessest は身をよじるような苦しみを表現する。Ich wachte auf, und ich weinte noch lange bitterlich は、下線部 weinte の w を強調し、wein の B 音と te の As 音の間に portamento を、また lange の As と Es の間にも portamento をかける。lange の lan は tenuto。lange のところの ritard. は espressivo 扱い。lange と bitterlich の間はつなげない。bitterlich の b は強調し、bit-ter-li-ch と発音する。Ich hab' im Traum geweinet, mir träumte, du wärst mir noch gut. Ich wachte auf, und noch immer strömt meine Tränenflut の始まりは、かすかな希望に対する大いなる喜びを持ち、明るく楽しい雰囲気でも歌う。下線部 w、du、auf、str、Tr は強調して発音し、immer は激しく歌う。wärst のところの ritard. は espressivo 扱い。

14. 夜毎の夢で

夜毎の夢であなたに逢います。
あなたが優しく挨拶をしてくれるので、
あなたの足許でわあっと泣き崩れてしまいます。
あなたは憂鬱そうに僕を見つめながら、
ただそのブロンドの可愛らしい頭を振るだけです。
そのときあなたの目から秘やかに
真珠のような涙の雫が零れ落ちていきます。
あなたは人目を忍ぶようにこっそりと話しかけ、
墓前に飾るイトスギの花束を差し出します。
目覚めたとき、その花束はなくなり、
その言葉も忘れてしまいました。

Allnächtlich im Traume seh' ich dich, und sehe dich freundlich, freundlich grüssen, und laut aufweinend stürz' ich mich zu deinen süßen Füßen では、Allnächtlich で decrescendo、im Traume で crescendo、seh' ich dich で decrescendo を行い、freundlich で crescendo、freundlich grüssen で decrescendo を行う。下線部 t、w、st は強調を、zu は z-u と歌い、ü、ü は長母音を活かす。Du siehest mich an wehmütiglich und schüttelst, schüttelst das blonde Köpfchen; aus deinen Augen schleichen sich die Perlen-Tränentröpfchen ha は、mp で始め、下線部の Du、w は強調し、siehest、wehmütiglich、schüttelst は言い切る。an は an-と歌う。wehmütiglich の weh の Cis 音と mü の Gis 音の間に portamento をかける。aus から sich までは少しルーズに歌い、Perlen 以下は明るく歌う。Du sagst mir Heimlich ein leises Wort, und gibst mir den Strauss, den Strauss von Cypressen では、下線部 D、st、Str、Str、pr はしっかりと発音する。sagst mir のところは囁いて、heimlich の heim の H 音と lich の Fis 音には portamento をかける。leises は語感を活かして静かに歌う。den Strauss からは表情を強く出し、Cypressen は墓に供える花なので不気味に、恐怖を感じながら歌う。Ich wache auf, und der Strauss ist fort, und's Wort hab' ich vergessen では、下線部 Str を強調して、und's からは落ち着いて歌う。vergeben は忘れた感じで冷たくならず歌う。

15. 昔のお伽噺の中から

昔のお伽噺の中から白い手を振っています。
そこでは魔法の国のことを歌ったり、
演奏したりしています。
金色の黄昏の中で色とりどりの花も咲いています。
そして、花嫁らしい顔をして、可愛らしく、
芳しい香りをさせながら、輝いています。
[緑の樹木は太古のメロディーを口ずさみ、
そよ風は秘やかに歌い、
鳥たちはそこで高らかにさえずっています。
影入道が大地から立ち昇り、
風変りなコーラスの中で
軽やかな踊りを踊っています。
青い火花はあらゆる葉や小枝で燃え上がり、
赤い光は猛り狂って
乱れた輪の中を駆けめぐっています。
大きな音を立てている泉は、
荒れ果てた大理石から勢いよく溢れ出ています。
小川では照り返しが
奇妙な輝き方をしています。]
ああ、そこに行き、この心を喜ばせ、
あらゆる悩みを取り除き、
自由や幸せに浸ることが出来たらいいのに……。
ああ、でもしばしば夢に見るあの喜びの国は、

朝日が昇ったときに
虚しい泡の如く消え去ってしまうのです。

Aus alten Märchen winkt es hervor mit weißer Hand では、下線部 winkt は、wi-nkt という legato 唱法ではなく、言葉を活かした win-kt という歌い方を行う。hervor では、下線部の r は歌う速度が速いため舌を巻かずに対処する。da singt es und da klingt es von einem Zauberland では、da と singt をつなげず、間を少し空け、Zauberland では Zau の E 音と ber の E 音の間で portamento をかける。wo bunte Blumen blühen im gold'nen Abendlicht では、下線部 b の破裂音を強調し、blühen は crescendo をしながら portamento をかける。und lieblich duftend glühen, mit bräutlichem Gesicht では、下線部 duftend は legato 唱法を用いず、duftend と u を短めにし f を長めに歌う。glühen は crescendo をしながら portamento をかける。und grüne Bäume singen uralte Melodei'n では、追憶の感じを出すために poco meno とし、grüne Bäume で crescendo、singem で decrescendo を行い、次の uralte で crescendo、Melodei'n で decrescendo を行う。die Lüfte heimlich klingen, und Vögel schmettern drein では、scherzando を用い、はしゃいだ感じで歌い出し、下線部 ttern の Fis 音は tenuto にしながら、n をしっかりと歌う。und Nebelbilder steigen wohl aus der Erd' hervor, und tanzen luft'gen Reigen im wunderlichen Chor では、下線部 N、m を長めに歌い、wunderlichen では、wun-derli-chen と歌う。und blaue Funken brennen an jedem Blatt und Reis, und rote Lichter rennen im irren, wirren Kreis では、legato 唱法を用いず、言葉を立てて歌う。un-d blau-e Fun-ken brenn-en im- irr-en wirr-en Krei-s という風に、直ぐに子音を発音するという感じである。und laute Quellen brechen aus wildem Marmorstein, では、下線部 Qu[kv]、br、w を強調する。und seltsam in den Bächen strahlt fort der Widerschein では、下線部 seltsam は selt-sam とし、Bächlein は Bäch-lein とする。str は強調して発音する。Ach, könnt' ich dorthin kommen, und dort mein Herz erfreu'n では、接続法 II 式を意識して、願望を表す。下線部 k、fr は強調し、ich は ch を言い切り、i-ch ではなく、ich-と ch を長く歌う。dort は「そこに」に対する憧れを表現する。und aller Qual entnommen, und frei und selig sein では、下線部 a、Qu[kv]、fr、s[z] を強調して発音する。entnommen は entno-mmen という legato 唱法ではなく、語感を出して entnomm-en と歌う。Ach! Jenes Land der Wonne は、mp で始まり、下線部の J、W を強調し、Land der で crescendo、Wonne で decrescendo を行う。das seh' ich oft im Traum は、p で始まり、前のフレーズと対比させ、im の H 音は tenuto。doch kommt die Morgensonne は、poco ritard. をしながら crescendo を行う。最初の

zerfließt's wie eitel Schaum は、下線部 eitel で、一点を凝視しながら声帯のソフトアタックを用い、e-itel と歌う。その際、vibrato はかけない。Schaum で Sch[ʃ] を強調しつつ、crescendo をかける。二回目の zerfließt's wie eitel Schaum は、mp から始まり、Adagio に向かって poco ritard. をしながら decrescendo を行い、eitel は前述と同じように声帯のソフトアタックを用い、e-itel と歌い、自然と遅くなって、呆然としている間に消えて行く感じを表す。ゆっくりとしゃべると効果がある。

16.あの昔の聞きたくもない歌

あの昔の聞きたくもない歌を、見たくもない夢を、
今、葬り去りましょう、
さあ、大きな棺を持って来て下さい。
その中に多くのものをすべて入れてしまいます。
でもまだ、何を入れるかは言いません。
棺は、ハイデルベルクの樽よりも
もっと大きなものです。
棺台を持って来て下さい、
回りの板は硬くて厚いもので、
マインツの橋よりもずっと長いものです。
12人の巨人も連れて来て下さい、
ライン河のケルン大聖堂の
力持ちクリストフよりも強くなければ駄目です。
巨人たちは棺を運び去り、
海の底深く沈めることでしょう。
何故なら、
大きな棺には大きな墓が相応しいからです。
何故、棺がこんなに大きくて重たいのか、
皆さんはご存知ですか。
それは、この僕の恋や苦しみを中に入れて
沈めてしまうからです。

出だしのピアノの前奏は、複付点を効かせ ff で巨大な感じを表す。Die alten bösen Lieder, die Träume bös' und arg, は、f の marcato 奏法を用い、下線部 a、b、b を強調、Träume は Trä-ume と発音する。die laßt uns jetzt begraben, holt einen großen Sarg では、下線部 ß、t、gr、gr を強調し、einen は marcato 気味にリズムを出す。Hinein leg' ich gar manches doch sag' ich noch nicht was は mp で始まり、下線部 ch、m、ch、ch、n、n は、長めに発音し、was は wa-s と歌う。
der Sarg muß sein noch größer wie's Heidelberger Faß は、下線部 größer で crescendo をし、語尾の r は余り舌を巻かない。ß は長めに発音する。Und holt eine Totenbahre und Bretter fest und dick では、下線部 T、f、d を強く発音し、Bretter の tt は長めに発音し、語尾の r は余り舌を巻かない。auch muß sie sein noch länger, als wie zu Mainz die Brück' では、下線部の

länger は crescendo をし、語尾の r は余り舌を巻かない。ck は、しっかりと切り切る。Und holt mir auch zwölf Riesen, die müssen noch stärker sein は、下線部 R を多めに舌を巻き、大きさを表す。m は長めに、st は強めに発音し、r は余り舌を巻かない。als wie der starke Christoph, im Dom zu Köln am Rhein は、下線部 st は強めに、r、D、K、R は長めに発音し、Christoph はたつぷりと歌う。Die sollen den Sarg forttragen, und senken ins Meer hinab では、下線部 D、f、tr を強調する。Die は前文を受ける。denn solchem großen Sarge の下線部は強調する。geführt ein großes Grab は大袈裟に歌い、下線部 gr、Gr は強調する。Wißt ihr, warum der Sarg wohl so groß und schwer mag sein では、下線部 ß、gr、schw を強調する。Wißt は言葉を歌うので、wi-ßt ではなく、wiß-t と歌う。Ich senkt auch meine Liebe und meinen Schmerz hinein の Adagio から Liebe に向かって力強く crescendo をかけ、Liebe は fermata のつもりでたつぷりと tenuto を行い、portamento をかけながら decrescendo を行う。und から p とし、meinen は me-einen という感じで発音し、Sch[ʃ]、z[ts] は長めに発音する。最後の言葉 hinein は第3音で終わることに鑑み、さり気なく歌い、[n] は下の音程 G 音で発音する。最後、主人公は死なないと解釈し歌い終える。

冒頭に述べたが、この解釈は、あくまでも一解釈であり、演奏する際には、それぞれの演奏家が色々な解釈をしている。何が正解で、何が不正解ということは芸術にはないが、この解釈を理解して演奏することで、ある程度のことが解決するのではないかと考える。

楽譜 ROBERT SCHUMANN LIEDER I
mittlere Stimme (Edition Peters) を使用
対訳 宝福英樹